

企業等との連携による具体的な取組 キャリア教育への取組

■企業等との連携による取組

授業科目名	病院実習(前期)	授業時数又は単位数	35時間
実施期間	平成28年11月14日～11月26日のうち5日間(1日7時間・合計35時間)		
実習・演習等の目的及び概要	診療情報管理士を置く医療機関において、即戦力として活躍できる人材を育成することを目的に学習する。授業を通して学んできたことを、実際の現場で実習することにより、理論と実践の相互関係を理解し、基礎的な知識・技術力を身につけることを目的としている。実習内容は、基本的に医療機関の指示に従い、診療情報管理士の方々の指導の下、実習を行う。		
企業等との連携の基本方針	岡山県内外の地域を問わず診療情報管理業務を実施している病院において、学生の実習受入にあたり、診療情報管理業務を含む医療関連業務を体験できる病院等を選定している。		
企業等との連携内容	授業科目の担当教員が実習内容の詳細について、実習前に事前に医療機関側と受入の確認と調整を行い、実習内容、学生の学修成果指標等について定める。実習期間中は、担当教員が医療機関を訪問し、学生の状況を確認するとともに、医療機関実習担当者や情報交換等の連携をしながら実習授業運営を行う。実習終了時には、実習担当者による学生の学修成果の評価と実習日誌をふまえ、担当教員が成績評価、単位認定を行う。		
学修成果の評価方法	学生の学修成果の評価にあたっては、授業科目担当教員が毎日の実習日誌、医療機関からの評価表にて評価を行う。医療機関と協議の上作成した評価表については、専門業務の理解・実習態度・マナーの評価を設定、医療機関が評価項目について3段階で評価を行う。実習終了後、医療機関からいただいた評価表および実習生の実習日誌に記載されている日々の実習成果を基に、担当教員が成績評価(4段階評価)、単位認定を行う。		
連携する企業等	岡山旭東病院、しげい病院、水島中央病院、倉敷中央病院、岡山中央病院 他全10施設		

■キャリア教育への取組

学科ごとの授業科目の中に実習、ビジネス実務、プレゼンテーション実習、コミュニケーション実習等それぞれの業界で必要なキャリア教育を行っている。(学科のカリキュラム参照)

企業等との連携による具体的な取組 キャリア教育への取組

■企業等との連携による取組

授業科目名	病院実習(後期)	授業時数又は単位数	35時間
実施期間	平成29年2月6日～3月18日のうち5日間(1日7時間・合計35時間)		
実習・演習等の目的及び概要	診療情報管理士を置く医療機関において、即戦力として活躍できる人材を育成することを目的に学習する。授業を通して学んできたことを、実際の現場で実習することにより、理論と実践の相互関係を理解し、基礎的な知識・技術力を身につけることを目的としている。実習内容は、基本的に医療機関の指示に従い、診療情報管理士の方々の指導の下、実習を行う。		
企業等との連携の基本方針	岡山県内外の地域を問わず診療情報管理業務を実施している病院において、学生の実習受入にあたり、診療情報管理業務を含む医療関連業務を体験できる病院等を選定している。		
企業等との連携内容	授業科目の担当教員が実習内容の詳細について、実習前に事前に医療機関側と受入の確認と調整を行い、実習内容、学生の学修成果指標等について定める。実習期間中は、担当教員が医療機関を訪問し、学生の状況を確認するとともに、医療機関実習担当者と情報交換等の連携をしながら実習授業運営を行う。実習終了時には、実習担当者による学生の学修成果の評価と実習日誌をふまえ、担当教員が成績評価、単位認定を行う。		
学修成果の評価方法	学生の学修成果の評価にあたっては、授業科目担当教員が毎日の実習日誌、医療機関からの評価表にて評価を行う。医療機関と協議の上作成した評価表については、専門業務の理解・実習態度・マナーの評価を設定、医療機関が評価項目について3段階で評価を行う。実習終了後、医療機関からいただいた評価表および実習生の実習日誌に記載されている日々の実習成果を基に、担当教員が成績評価(4段階評価)、単位認定を行う。		
連携する企業等	岡山医療センター、大阪南医療センター、北里大学病院、岡山赤十字病院、京都第二赤十字病院 他全11施設		

■キャリア教育への取組

学科ごとの授業科目の中に実習、ビジネス実務、プレゼンテーション実習、コミュニケーション実習等それぞれの業界で必要なキャリア教育を行っている。(学科のカリキュラム参照)